

バ鈴蟲ニアラズトイフ。
 單ニ鳴キ音ノミヲ樂シムニハ雄ト雌ト別ニスル方ヨシ
 容器ハヤハリ孵化スル時ト同ジク甕又ハ硝子製ノモノ
 ヨロシク蓋ハ[カンレイシヤ]金巾ノ如キモノヲ用フ世間
 ニテハ二匹以上一緒ニ入レ置ク時ハ一方喰ヒ殺サルト
 イヘドモ少シク注意スレバカ、ル憂ナシ即チ器ノ中ニ
 ハヨク乾キタル鹽氣ナキ砂ト、蟲ガ日光ヲ避ケ同時ニ運
 動ノ面積ヲ廣クセンガタメノ黒ボツクト云フ黒キ粗質
 ノ火山岩、又ハ手輕ニ素焼ノ植木鉢、石、木片等ノ如キモノ
 トヲ入ル、ヲヨシトス。

斯ノ如ク卵ノ時ヨリ丹精シテ飼養シ美音ヲ弄スルニ至
 ラバ興味一層深キモノナルベシ。

寄 稿

理化學研究所の研究方針と事業の概略

教授 平 田 敏 雄

理化學研究所が如何様に組織せられ如何様の仕事を爲す目的を有するかは我等理化の學に關係あるもの、常に聽かんと欲せる所なるが本年八月五日發行東洋學藝雜誌雜錄欄内に「理化學研究所の事業と産業界」と題せる約二頁の記事あり之は本年一月理化學研究所が法人として未だ成立せざるとき同所創立委員の發表せしものにて今回同所理事會に於て之を承認したるものなりと云ふ以て其研究の方針と事業の概略を伺ふに足るべし詳細は同雜誌を

一覽せられよ唯茲に其事業の主項目を録し置かん。

○理化學研究所の方針

理化學研究所は物理學及化學に關する獨創的研究を爲し又之を獎勵し以て工業其他一般産業の發達に資せむことを期す。

○其事業の主なるもの

- 一、純學理的研究
- 二、學理及應用の統一的研究
- 三、研究の依頼應諾
- 四、各試験所との連絡
- 五、研究者の養成
- 六、自由研究の許可
- 七、研究の表彰及補助、發明考案の完成
- 八、研究成績の公表及談話會の開催

因に記す同所敷地は未定なるも(多分巢鴨病院敷地を用ゆることゝならんとのこと)地所は約一萬坪として全工事は五箇年の繼續事業となす計劃の由又建築及設備完成の上は所長副所長各一名部長二名、研究員及研究員補約二十名研究見習及助手約六十名外に職工約二十名合計約一百名も收容し尙自由研究者を容るべき相當の場所及び事務員數名をも容るべきものなり又此建築及設備の完成を待たずと着手し得るものは次記の如くにして既に第二項の留學生派遣は去八月既に實行せられたり(物理では理學博士西川正治氏化學では理學士淺原源七氏)

- 一、研究者を養成すること
- 二、留學生を派遣すること
- 三、研究を直ちに開始すること